

第 44 回日本自然災害学会学術講演会に参加しました（2025/9/17-18）

場所：北海道教育大学札幌校（札幌市）

参加者：佐藤翔輔准教授，新家助教，成田（D2），劉（M2）

9 月 17 日(木)～18 日(金)の 2 日間，北海道教育大学札幌校（札幌市）で日本自然災害学会が主催する「第 44 回日本自然災害学会学術講演会」が開催されました。同学会は，その名の通り，自然災害科学の研究の向上と発展につとめるとともに，防災・減災に資することを目的としている学会であり，自然災害に関するあらゆるジャンルのテーマを対象としています。年に 1 回，学術講演会が行われ，研究発表による情報共有や交流が行われています。当研究所からは，学術講演会で 査読セッションで 2 件，一般セッションで 3 件の研究発表を行いました。各発表者の講演題目等は次の通りです：

【査読付き論文セッション】

- 佐藤翔輔，金子哲士，今村文彦：大雨災害における妥当な避難行動のトリガー情報は何か:2021～2024 年に発生した大雨災害の実態分析から
- 新家杏奈，佐藤翔輔：被災体験の聞き取りを通じた防災学習効果の継続性と繰り返しの意義
一鹿折中学校

【一般セッション】

- 佐藤翔輔，桎谷（門倉）七海：1967 年羽越水害の伝承手法としての「えちごせきかわ大したもん蛇まつり」が 55 年後に起きた実災害における影響:2022 年 8 月豪雨で被災した新潟県関川村を対象にした考察
- 成田峻之輔，佐藤翔輔，今村文彦：グラフ理論に基づく避難コストの定量化による津波避難施設の効用評価
- Yen-Ching Liu, Shosuke Sato : Analyzing the Seven Critical Elements of Life Recovery Using News: A Case Study of the 2024 Noto Peninsula Earthquake

（学術発表優秀賞受賞）



（文責：成田）